

固溶強化の作用に加えて、析出物のピン止め効果や固溶元素による結晶粒の粗大化抑制により、従来のりん脱酸銅に比べて高い値となっている。そのため高強度銅管では、強度向上分に応じてりん脱銅管よりも薄肉化が図れるなど、その効果は大きい。

2.4 高強度銅管のその他の特性

他の重要な特性である疲労強度においても、各高強度銅管が従来のりん脱酸銅よりも優れることを確認している。配管に使用される銅管は、静的強度に加え疲労強度も加味して肉厚が設定されるため、この点でも薄肉化を可能にする。

また、耐食性についても確認しており、塩水噴霧試験などでりん脱酸銅と同等以上の結果を得ている。

3. 高耐食銅管の開発

